

大麦管理特報

No3

令和6年2月

黒 部 市
黒部市農業技術会議

分施栽培のほ場は、消雪後追肥の時期を迎えています。
晴れ間を見て、遅れないように追肥を行って下さい。

また、排水溝の手直しや排水口の掘下げなどをしっかりと行い、ほ場内の停滞水の排出に努めましょう。

1 消雪後の追肥【分施体系ほ場のみ】

生育の回復と、穂数の確保のため、遅れずに必ず実施する！

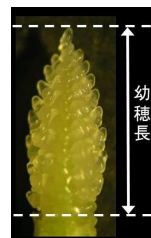
また、茎数が多いほ場（1,200 本/㎡以上）では、施用量を減らし、止葉展開期に追肥できる生育量に誘導する。

肥効調節型基肥栽培ほ場は、極端に葉色が淡くなった場合を除き、消雪後の追肥は行わない。

追肥時期：消雪後遅れずに

（幼穂長3～4mm）

施用量目安：10a 当たり 硫安 20kg



幼穂長
3～4mm

茎数が多いほ場（1,200 本/㎡以上）では
10a 当たり硫安 10～15kg に減らす

2 排水対策の徹底

溝に停滞水がある場合は、溝を手直しするとともに、水吐尻と確実に連結し、排水口を掘り下げ、排水を行う。

停滞水があると、根張りが悪く、肥料の効果も期待できません！

